

市町村社会福祉協議会から
宮城県社会福祉協議会への要望

団 体 名 社会福祉法人石巻市社会福祉協議会

要望項目

介護保険・自立支援事業における資格取得研修の開催に関する要望

要望の背景（現状・課題・内容）

【現状】

県内社協職員の資格取得に繋がる研修が実施されていない。

【課題】

各市町村社協では資格取得に繋がるような人材育成にかかる研修等を実施しきれない。

【内容】

宮城県社協に対して、県内社協職員を対象とした各種資格取得研修の開催を要望するものです。具体的には「介護職員基礎研修」、「介護福祉士・社会福祉士国家資格試験 試験対策研修」、「介護支援専門員実務研修受講試験 試験対策研修」など。

団 体 名 社会福祉法人山元町社会福祉協議会

要望項目

東日本大震災に伴い、様々な対応を行っている社協職員（臨時職員を含む）のメンタルケア（心の健康診断）の定期実施を要望します。期間は復興業務を行っている期間です。

要望の背景（現状・課題・理由）

【現状】

山元町は東日本大震災により大規模な被害を受けました。職員も住民であり、被災者である中、発災直後より復興業務へ従事してきました。災害ボランティアセンター運営にあっては、被害を受けた沿岸部が段階的に立ち入れるようになり、最終的に全て解除されたのは、11月7日でした。そのため、長期に渡り、災害ボランティアセンター運営を余儀なくされ、また、通常業務が追いつかず、少ない職員数で休暇も取れずにいる中、体調を崩し入院に至る職員も出てきます。

【課題】

各職員は、昨年度分業務の整理を行いながら、今年度の業務を実施しています。また、仮設住宅で生活している住民の支援を行っている職員についても同様で、自らが被災者である中で多くの業務を処理したり、被災者に寄り添って支援を続けて行くためには、職員のストレスケアが必要です。

被災した方々も同時に1年が経過する中、各職員はその気持ち、想いがさまざま変化することも受け止め対応するよう努めていますが、未だ忙しいことを理由に、この東日本大震災の津波の犠牲になった同僚、友人、知人へ、手を合わせに行くことも出来ずにいます。このこともストレスの大きな原因になっています。

【内容】

上記の現状及び課題から、精神科医等による定期的（1，2ヶ月に1度）なストレス診断を、国または県の単独事業として予算措置されることを要望するものです。